

南三陸イヌワシ野生復帰フォーラム

イヌワシ・アゲイン！ ～野生復帰への挑戦～

主催 南三陸地域イヌワシ生息環境再生プロジェクト協議会
共催 南三陸町、南三陸町教育委員会

2025 **7月30日(水)** [18:00開場] **18:30-20:30**

会場 南三陸町役場内 マチドマ **参加費** 入場無料

[宮城県本吉郡南三陸町志津川沼田101]

プログラム

開催内容は諸事情により
変更となる場合がございますので
ご了承下さい。

開催概要

プログラム1 なぜ南三陸で野生復帰が必要なのか？

南三陸地域イヌワシ生息環境再生プロジェクト協議会
会長

鈴木 卓也

生まれも育ちも南三陸町。小学4年の春に「志津川愛鳥会」に入会。以来、野鳥を隣人として過ごしてきた。南三陸町職員（おもに文化財保護を担当）を経て2007年からフリーランス。

プログラム2 南三陸イヌワシ野生復帰プロジェクトについて

公益財団法人日本自然保護協会

野口 将之

30年以上建設コンサルタントとしてイヌワシを初めとする希少猛禽類の調査研究、アセスメント、保全対策に従事。現在はフリーランスとして日本自然保護協会のプロジェクトなどで活動中。

「南三陸地域イヌワシ生息環境再生プロジェクト協議会」は、2016年11月に始動し、2021年5月に発足しました。これまで、持続可能な山林業の振興と多様な森林利用により、官民共同でイヌワシの生息環境再生を進めてきました。しかし、繁殖率の低下やペア数の減少など、日本のイヌワシを取り巻く状況が厳しさを増し、生息環境の再生だけではイヌワシの復活は難しい状況です。そのため、2023年8月、協議会内に「イヌワシ野生復帰ワーキンググループ」を設置し、動物園で繁殖したイヌワシを南三陸地域で野生下に復帰することができないか、専門家を交えて調査と検討を重ねてきました。このたび、ワーキンググループによる実施計画書がまとまり、今後、野生復帰に向けた準備を本格的に開始します。この「南三陸イヌワシ野生復帰プロジェクト」を説明するフォーラムを南三陸町で開催します。当日は、イヌワシ保護増殖事業を所管する環境省と、生息環境再生に取り組んできた林野庁の方々もお招きします。是非ご参加下さい。

その飛翔は、人と自然との共生の証

INUWASHI AGAIN

